



I 第22週の発生動向 (2019/5/27~6/2)

1. 手足口病については、**上十三保健所管内**で**警報**が発令されました。また、三戸地方+八戸市保健所管内では定点当たり報告数が4.30となり、警報開始基準値(5)に近づいています。県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態です。
2. 伝染性紅斑については、**弘前保健所管内**、**上十三保健所管内**で**警報**が継続しています。県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
3. ヘルパンギーナについては、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態です。
4. インフルエンザについては、県全体の定点当たり報告数が2週連続で流行シーズン入りの目安である1.00を下回ったので、県内インフルエンザ情報(2018/2019シーズン)の掲載を今回で終了します。(型別等の情報は随時掲載します。)

II 第22週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減 数
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	17	1.31	9	0.60	2	0.13	3	0.43	5	0.56			36	0.55	2
	RSウイルス感染症	1	0.13			5	0.50	1	0.20					7	0.17	-2
小児科	咽頭結膜熱	5	0.63	4	0.44	2	0.20	4	0.80					15	0.36	-4
	A群溶血性レンカ球菌咽頭炎	9	1.13	21	2.33	20	2.00	2	0.40	12	2.00	1	0.25	65	1.55	-1
	感染性胃腸炎	54	6.75	26	2.89	51	5.10	47	9.40	21	3.50	16	4.00	215	5.12	41
	水痘			1	0.11	3	0.30					1	0.25	5	0.12	-9
	手足口病			5	0.56	43	4.30	1	0.20	31	5.17			80	1.90	28
	伝染性紅斑	1	0.13	17	1.89	2	0.20	4	0.80	13	2.17	1	0.25	38	0.90	-21
	突発性発しん	4	0.50	2	0.22	12	1.20	2	0.40	2	0.33	1	0.25	23	0.55	-1
	ヘルパンギーナ			2	0.22	8	0.80							10	0.24	1
	流行性耳下腺炎	1	0.13	1	0.11	3	0.30			1	0.17			6	0.14	2
	眼科	急性出血性結膜炎														
流行性角結膜炎						5	2.50	2	2.00			1	1.00	8	0.73	5
基幹	感染性胃腸炎(ロウイルス)					1	1.00	1	1.00					2	0.33	2
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎										7	7.00		7	1.17	5
	無菌性髄膜炎															0

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

レジオネラ症 (四類全数把握対象疾患)

レジオネラ症は、自然界に存在するレジオネラ属菌(レジオネラ・ニューモフィラなど)が原因で起こる感染症です。急激に重症になって、死亡する場合もあるレジオネラ肺炎と、一過性のポンティアック熱に分けられます。

レジオネラ肺炎は、全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛などの症状に始まり、発熱、咳、胸痛、呼吸困難がみられ、意識障害、幻覚・手足が震えるなどの中枢神経系の症状や下痢も特徴とされます。ポンティアック熱は、発熱、悪寒、筋肉痛などの症状がみられますが、自然に治癒します。

全国では毎年報告数が増加しており、本県でも増加傾向にあり(図)、今年は第22週現在で6人の報告となっています。

レジオネラ症は、レジオネラ属菌に汚染された目に見えない細かい水滴(エアロゾル)を吸い込むことで感染します。レジオネラ症を予防するため、加湿器や循環式浴槽などを定期的に洗浄、塩素消毒等を行い、衛生管理に努めましょう。

◎詳しい情報はこちらをご覧ください。☞ [レジオネラ Q&A\(厚生労働省 HP\)](#)

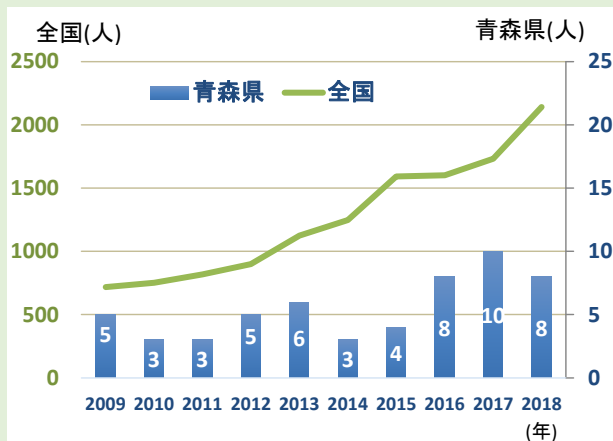


図: 青森県及び全国のレジオネラ症患者報告数推移 (2009年~2018年)

🔍 レジオネラ症 Q&A



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市 1 人、八戸市 1 人 (2019 年計：107 人)
- ・つつが虫病（四類全数把握対象疾患）：青森市 1 人 (2019 年計：2 人)
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類全数把握対象疾患）：上十三 1 人 (2019 年計：3 人)
- ・梅毒（五類全数把握対象疾患）：八戸市 1 人 (2019 年計：13 人)

Ⅳ 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。

無菌性髄膜炎患者（咽頭ぬぐい液、5/17）・・・HHV6B：青森市 1 人

Ⅴ 県内インフルエンザ情報（2019 年第 15 週～第 22 週）

- ・第22週の患者報告数は36人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは36人【A型：3人、B型：33人】でした。

保健所管内別報告数（人）

保健所名	15	16	17	18	19	20	21	22
東地方+青森市	42	31	33	32	14	15	4	17
弘前	51	36	19	9	18	22	10	9
三戸地方+八戸市	29	49	52	6	19	9	6	2
五所川原	36	27	32	12	4	5	5	3
上十三	22	30	40	35	11	22	8	5
むつ	97	44	24	23	5	3	1	
合計	277	217	200	117	71	76	34	36

A型（迅速診断キットによる型別）(人)

保健所名	15	16	17	18	19	20	21	22
東地方+青森市	41	30	32	29	11	4	1	1
弘前	51	36	19	8	13	9	2	1
三戸地方+八戸市	26	38	31	4	16	4	1	1
五所川原	36	27	28	8	2	1	4	
上十三	15	15	27	18	10	18	3	
むつ	94	44	23	14	1	1		
合計	263	190	160	81	53	37	11	3

B型（迅速診断キットによる型別）(人)

保健所名	15	16	17	18	19	20	21	22
東地方+青森市	1	1	1	3	3	11	3	16
弘前				1	5	13	8	8
三戸地方+八戸市	3	10	21	2	2	5	5	1
五所川原			1	4	2	4	1	3
上十三	5	14	11	12	1	3	4	5
むつ				9	4	2	1	
合計	9	25	34	31	17	38	22	33

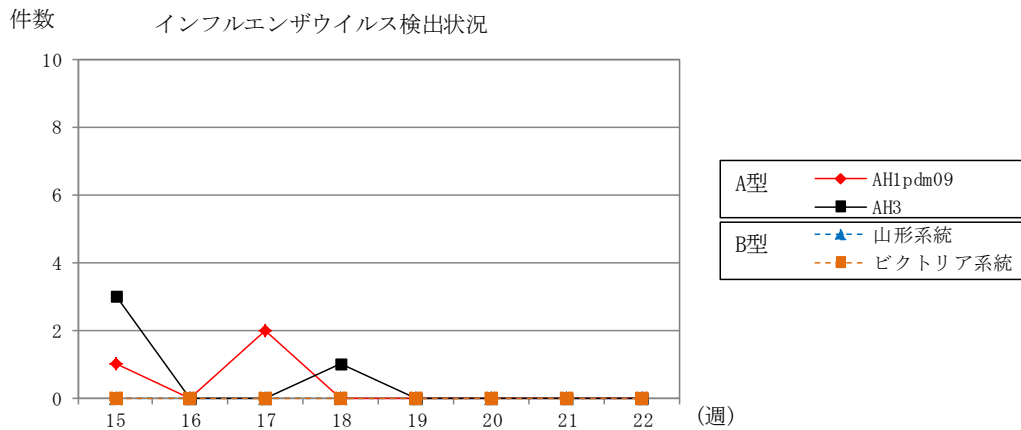
年齢区分別(人)

年齢区分	15	16	17	18	19	20	21	22
～5ヶ月								
～11ヶ月	4	4	3	3	2			
1歳	8	12	11	2	1	1	3	1
2歳	12	8	7	1	3	3		
3歳	12	7	11	1	1	7		
4歳	13	3	9	2	7	9	1	2
5歳	9	11	6	2	2	3	1	1
6歳	13	14	12	2		1	3	1
7歳	10	7	6	5	3	3	5	7
8歳	9	6	12	4	1	1	5	2
9歳	9	9	6	5	1	5	1	1
10～14歳	35	26	28	10	14	19	8	15
15～19歳	10	21	21	9	6	5	1	2
20～29歳	18	9	14	16	3	4	2	
30～39歳	17	17	12	17	5	5	2	3
40～49歳	27	16	15	15	4	2	1	
50～59歳	23	13	11	5	4	3		1
60～69歳	18	8	6	9	6	2	1	
70～79歳	17	5	4	4	4	1		
80歳以上	13	21	6	5	4	2		

VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）

インフルエンザウイルス		2019								直近5週間 合計	2018/2019 シーズン 合計
		15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週		
提出検体数		4	0	3	1	0	2	1	0	4	70
A型	AH1pdm09	1		2						0	22
	AH3	3			1					1	41
B型	山形系統									0	0
	ビクトリア系統									0	0
合計		4	0	2	1	0	0	0	0	1	63

注) 2018/2019シーズンは2018年第36週（9/3～9/9）～2019年第35週（8/26～9/1）



VII 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2019年第19週～第22週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
19	アメーバ赤痢1人 侵袭性肺炎球菌感 染症1人	梅毒1人	梅毒1人			
20	E型肝炎1人 レジオネラ症1人 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人	梅毒1人			レジオネラ症1人	
21	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人 百日咳1人	つつが虫病1人				
22	つつが虫病1人		梅毒1人		劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人	

- ・第21週に青森市保健所管内でカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人の届出がありましたので追加しました。

VIII 結核(二類全数把握対象疾患)（2019年第19週～第22週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
19		2	2	1	1	
20	2	6	1	1	1	
21	3	1	1		1	
22	1		1			

Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2019年第1週～第21週までの累計）

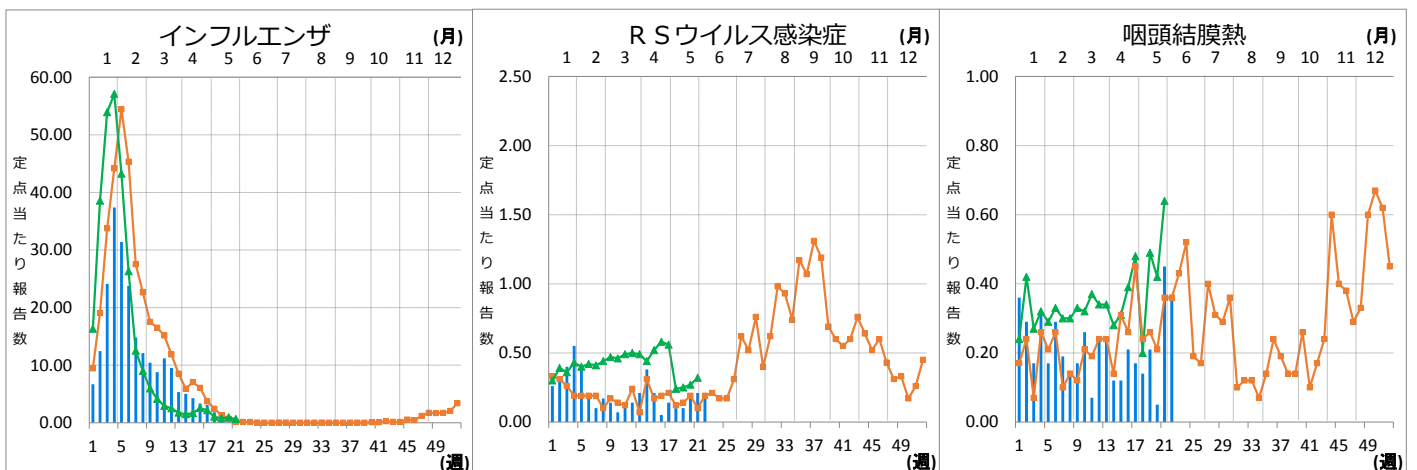
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病
累積報告数	8126	3	35	503	15	9	193	187	4	10
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病
累積報告数	1	25	3	55	124	37	1	1	15	1
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	544	4	347	120	735	25	422	7	62	375
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	先天性風しん症候群	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風
累積報告数	431	17	256	20	1683	179	2	2472	57	33
分類	五類	五類	五類	五類	五類					
疾病名	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症					
累積報告数	30	6247	1624	566	14					

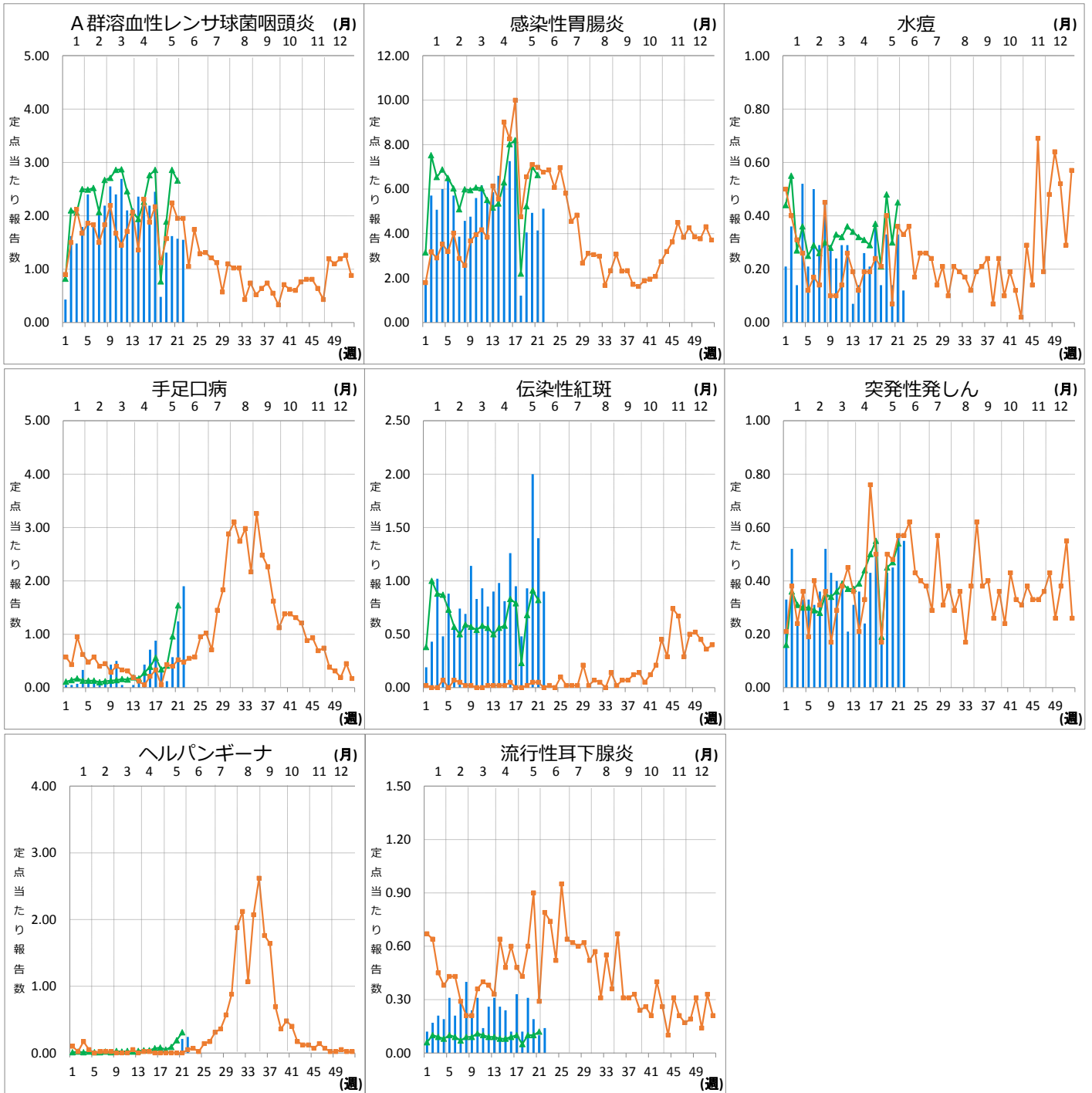
青森県（2019年第1週～第22週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	107	1	1	2	6	2	15	1	1	1
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類			
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳			
累積報告数	3	1	1	9	13	3	12			

Ⅹ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2019年第22週、ただし全国は前週）

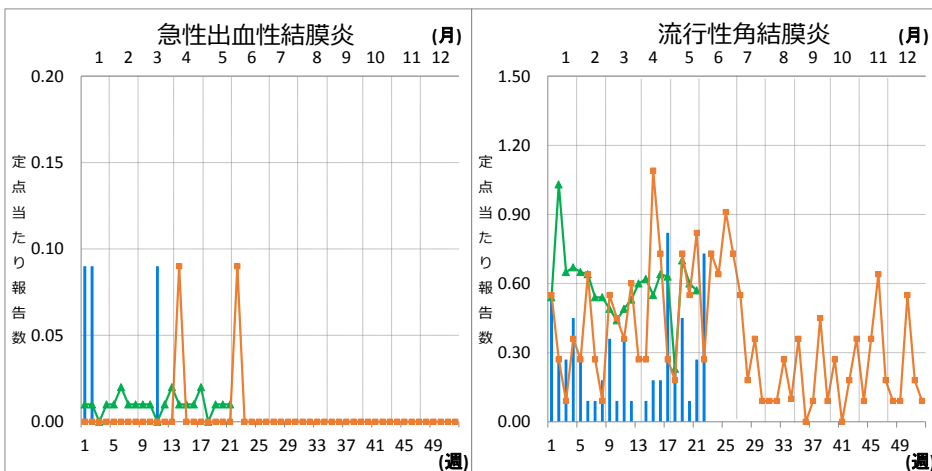
グラフの説明 ← 〇は2019年青森県、■は2018年青森県、▲は2019年全国





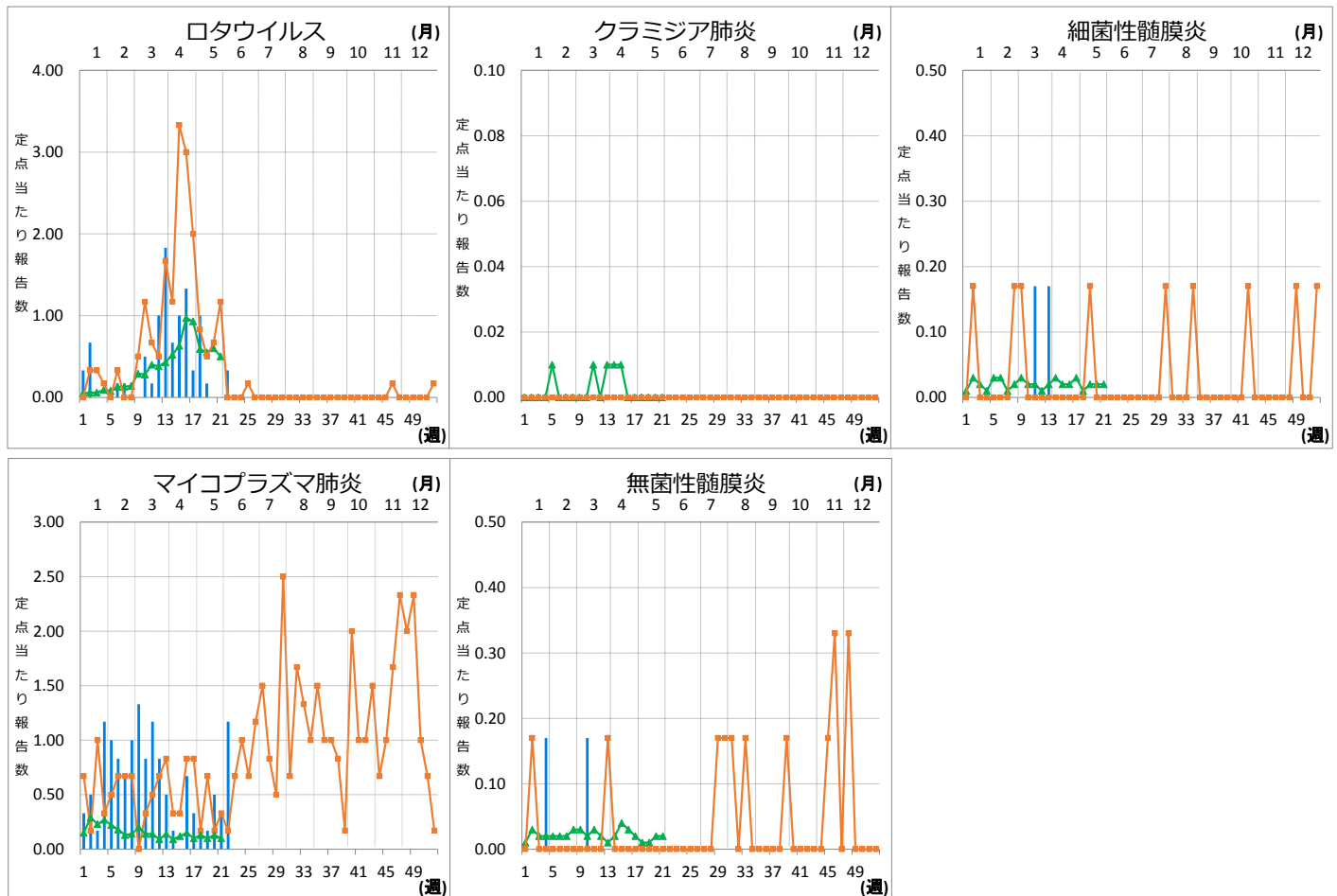
XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2019年第22週、ただし全国は前週)

グラフの説明 — は 2019年青森県、 ■—■ は 2018年青森県、 ▲—▲ は 2019年全国



XII 基幹定点把握対象疾患週別推移（2019年第22週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2019年青森県、 は2018年青森県、 は2019年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2019年第22週

報告はありませんでした。

2019年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	計
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-21週	22週	
介護・老人福祉関係施設	件数	1	0	1	1	0	0	3
	発症者数	29	0	24	89	0	0	142
児童・婦人関係施設等	件数	4	2	1	3	2	0	12
	発症者数	69	47	17	53	14	0	200
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	2
	発症者数	0	48	0	18	0	0	66
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	5	3	2	5	2	0	17
	発症者数	98	95	41	160	14	0	408